

成果の実用化に関するお願い
(販売先・共同開発等のパートナーについて)

受付番号： H10 - 217	主分類 機械装置	副分類 廃棄物処理
課題名： 剪定枝葉の解繊装置の開発		
(企業名) 名古屋港木材倉庫株式会社		
(企業の主要な事業内容) 1. チップ製造業 2. 港湾運送業 3. 倉庫業 4. 環境事業 5. その他		
(利用分野・用途) 1) 有機農業、堆肥 2) 緑化事業、堆肥、草押さえマット 3) 畜産事業、 敷料、飼料 4) 廃棄物処理業等、固形燃料		
(特徴) チップに混入している砂利、石、金属類を除去し(風力選別機)夜間電力にて乾燥する(回転式乾燥機)を組み合わせ、繊維状に解繊する。		
(従来技術・競合技術) 木片を細かくする技術は、粉碎機や植繊機として市販されているが、木の繊維化には至っていない。		
(要望事項) 特に間伐材の畜産への飼料化は、今後の事業展開としては面白い分野ですので、その方面へのPRを期待します。		
(新技術の概要) 従来の技術では、破碎されたチップは、細かくはなっているが、繊維化までにはならず、特に、畜産の敷料利用では、木片が家畜のひずめに刺さるケースが多い。これを繊維化により解消する。この技術は、利用目的が多い。		